會澤　滿安　飯島　浩
古賀　得正　齊官　邦夫
永井　幸彦　長江　三郎
正六位に叙する（各通）
安藤　紀宏　岡島　將
木下　良一　高松　通
中上　良隆　西村　貴行
森　　曉　若林　眞一
従六位に叙する（各通）
岩井　紀治　福森　信晴
正七位に叙する（各通）
岡田　利夫　河邊　砂尾
後藤　忠之　森山　徳盛
従七位に叙する（各通）（以上四月二十九日）
甲斐　孝夫　西川　彭
正五位に叙する（各通）
池田　征　熊倉　浩氣
田甫　昭三　山岸　正廣
正六位に叙する（各通）
大谷　貢　青田　輝智
従六位に叙する
森坪　誠司　柳田　高志
正七位に叙する（各通）
（熊本県上球磨消防組合消防司令）
岩崎　靖　武田　良實
従七位に叙する（以上四月三十日）
従七位
小松　信彦
従五位に叙する
上田　憲治　小松　恒
田中　光則　永元　靜馬
（三等海尉）
従七位に叙する（各通）（以上五月一日）
鍬守　正一
正四位に叙する
清家　只芳
正七位に叙する（以上五月二日）
（高知大学名誉教授）
竹田　正彦
正四位に叙する（五月三日）
（名古屋大学名誉教授）
従四位に叙する
福井　崇時
従七位に叙する（以上五月四日）
齋藤　勝美

○叙勲

（紋別市議会議員）
旭日小綬章を授ける
松尾　幸光
旭日単光章を授ける（以上四月二十六日）
加藤勘兵衛　廣瀬　進
旭日双光章を授ける（各通）
伊藤　勲
（大阪府忠岡町議会議員）
松井　秀次
旭日単光章を授ける（各通）（以上四月二十七日）
南　　壽
旭日小綬章を授ける
深水　格　丸吉　芳金
旭日単光章を授ける（各通）（以上四月二十九日）
武田　勇
阿部　正博　越智　照人
松本　良治　宮川　修治
瑞宝双光章を授ける（各通）（四月二十六日）
山岡　泰也
瑞宝小綬章を授ける
阿部　利和　司辻　秀治
浅田　好生　中田　一郎
金原哲比己
（福島県警視）
平賀　弘
瑞宝双光章を授ける（各通）
砂原　節士
福島　紅葉
尾田　正　野田　隆道
槙本　輝夫
峰松　勝己
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上四月二十七日）
近藤　廸男　高松　恒
木村　太士　吉原　昭
永田　勝信
古家　則康
瑞宝双光章を授ける（各通）
大塚　茂　小倉　義治
太田黒次美　矢野　信明
仲田　祥三
浜田小三郎
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上四月二十八日）
川口　修平
瑞宝小綬章を授ける
安藤　紀宏　岡島　將
小河　守　古賀　得正
城　英昭　佐々木武彦
森　　曉　永井　幸彦
山本　剛三　綿貫　教文
瑞宝双光章を授ける（各通）
後藤　忠之　高松　通
木下　良一　西村　貴行
瑞宝単光章を授ける（以上四月二十九日）
瑞宝小綬章を授ける
池田　征　大谷　貢
熊倉　浩氣　森坪　誠司
瑞宝双光章を授ける（各通）
（熊本県上球磨消防組合消防司令）
岩崎　靖
瑞宝単光章を授ける（以上四月三十日）
（三等海尉）
田中　光則　永元　靜馬
瑞宝単光章を授ける（各通）（五月一日）
清家　只芳
瑞宝単光章を授ける（五月二日）
齋藤　勝美
瑞宝単光章を授ける（五月四日）

皇室事項

認証官任命式

五月二十九日午後六時二十分、宮中において、特命全権大使福田紀夫の認証官任命式が行われた。

歓迎行事

天皇皇后両陛下は、五月三十日午前九時二十三分、皇居において行われたベトナム国主席閣下及び同令夫人の歓迎行事に御臨場になった。

御会見

天皇皇后両陛下は、五月三十日午前九時四十三分、宮中において、ベトナム国主席閣下及び同令夫人と御会見になった。

宮中晩さん

天皇皇后両陛下は、五月三十日午後七時二分、ベトナム国主席閣下及び同令夫人のため、宮中晩さんをお催しになった。

官庁報告

労　働

労働保険審査官及び労働保険審査会法第36条の規定に基づく関係事業主を代表する者の候補者の推薦について

今般、労働者災害補償保険制度の関係事業主を代表する者である渡邉拓郎の辞任の申出に伴い、労働保険審査官及び労働保険審査会法（昭和31年法律第126号）第36条の規定及び同法施行令（昭和31年政令第248号）第22条第1項の規定に基づき、補欠の関係事業主を代表する者を指名したいので、資格ある事業主の団体は、下記により関係事業主を代表する者の候補者を推薦されたい。

平成30年6月4日

厚生労働大臣　加藤　勝信

記

1　推薦資格　推薦資格を有するものは、労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号）第3条に規定する労災保険に係る労働保険の保険関係の成立している事業の事業主の加入している事業主の団体であって、2以上の都道府県労働局の管轄区域にわたって組織を有するものであること。

2　推薦手続　推薦に当たっては、別紙様式の推薦書に候補者の履歴書を添付して提出すること。

3　推薦締切日　平成30年6月14日

4　推薦書及び添付書類の提出場所　〒105―0011　東京都港区芝公園1―5―32　労働委員会会館8階　労働保険審査会

様式

平成　　年　　月　　日

厚生労働大臣　殿

団体名及びその代表者名

印

労働保険審査官及び労働保険審査会法第36条の規定に基づく関係事業主を代表する者の候補者として、下記の者を推薦します。

氏名	年齢	制度別所属団体名及び当該所属団体における地位	略歴	備考
		労働者災害補償保険制度		

（注）1　所属団体名及び当該所属団体における地位の欄には、被推薦者の所属する団体及び当該所属団体における地位が2以上ある場合は、その全部を列挙して記入すること。

2　略歴の欄には、被推薦者の所属し、又は所属していた団体における略歴を記入すること。